

りんごのもり

林檎の森



特集 1

相馬という名の産地力

特集 2

注目を集めるりんご高密度植わい化栽培

産地力という強み。そして信頼という絆

先人たちが築き上げてきた飛馬ブランド。それは、消費者から受ける絶大な支持と信頼の証。相馬が持つ産地力を活かして農業所得増大へ。産地一体となって今後も取り組むことの大切さを共有したい。

「相馬」はリンゴに特化した地域であることから、相馬村が弘前市と合併した今でも「相馬」という産地名を残している。リンゴに特化した地域として産地力を維持していくためにも、JA出荷で産地力強化及び消費者からの支持を維持していくことは重要なことである。農業所得増大が目標であることは基より、消費者から評価される産地というのが大事であることをもう一度考えてみたい。

「相馬のリンゴは美味しい。」そんな声が県内外の消費者から聞こえてくるようになったのは、いつからだろう。少なくとも、今に始まる

たことではないが、コクのある旨みや品質の高さなど様々な視点から高い評価を受けている。これは、長い年月を掛けて築き上げてきたからこそこの声である。

全国各地で展開されている飛馬リンゴの販売キャンペーンにおいては、その場でお客様から「相馬のリンゴが好きで毎年購入しています。」などといった率直な意見を頂き、産地力の強さを実感できていることも周知しておきたい。その言葉は、まさに信頼の証であると云えよう。試食をせずに手に取ってもらえるのだから。



ひとつひとつ人の目で品質を見極める

消費地から選ばれる産地を これからもずっと守り続けたい



光センサーで内部も見逃さない

また、キャンペーン以外の通常販売においても、スーパーの店頭では「青森県産」という表示ではなく、「JA相馬村産」という飛馬ブランドの強みを活かしたPRがされている。青森県産という中でも、JA相馬村産というのは特別であると言っても過言ではないだろう。一方、市場においては、仲卸業者の鋭い眼差しのおかげに厚い信頼が隠れている。競りが行われる前に、サンプルが1箱ずつ置かれるのだが、仲卸し業者は入念な

特集
相馬という名の
産地力



チェックをしてから競りに臨む。しかし、JA相馬村産のリンゴについては、開封されないまま置かれているものもある。それは、中身を見なくても高品質であることを理解している仲卸業者との深い信頼関係の現れである。飛馬ブランドは「むつ」で築き上げられたが、ここで一番重要なのは生産者が一丸となって高品質生産に取り組んできたことだ。相馬のリンゴをJA相馬村産として出荷する意義はここにある。そして、商品に対する信頼を築き上げるまでとはとても長い道なのであるものの、信頼を失うことは一瞬であることから、JAの選果基準が厳しい理由もここにある。生産から販売までJAが力添えできる環境がJAの利点でもあり、ただ単に販売するだけでなく消費地の声を生産現場に届けて消費者ニーズに合った販売を可能にしていることは大きな利益の一つと感じる。

相馬の特色を大切に

リンゴ王国「おおもり」。しかしながら、リンゴは世界各国で作られている。ましてや、輸入リンゴ



威勢の良い掛け声で飛馬リンゴが競り落とされる
(東一東京青果)



競り前の品定めに熱い視線が注がれる

は低価格で食味も良好な時代が到来していることは我々にとって脅威だ。ここに危機感を持つている人は、どれだけののだろうか。

国内生産量第一位を誇る「ふじ」。これもまた、日本だけで作られているわけではない。また、海外では、気候と広大な面積、労働力を最大限に活かした栽培が主体となり、農業分野においても大量生産という時代を迎えている。温暖化や労働力不足といった栽培環境の変化から、日本は大きな壁に行く手を阻まれているようにも思える。

しかし、手間をかけてひとつひとつ丁寧にリンゴを作ることは、我々日本人にしか出来ない職人技でもある。同じ「ふじ」であっても当JAの高糖度・濃赤色が魅力の「飛馬ふじ」が消費者から高い支持を受けている理由はここにある。労働力不足の環境においては、時代に逆らっているように見えるが、食味や品質などで勝負できるのは我々の強みであり、高品質生産の重要性は「むつ」で多くを学んだはずだ。他産地と比較されることなく、

は信頼と特徴も失うことになりうると言ってもいいだろう。

しかしながら、労働力不足という大きな壁は避けて通れない。これはJAにとっても対策は急務とされており、事業の中でも非常に重要視されている。JAの努力がより一層求められる時代の中で、組合員の声を反映させながら、この問題解決に向けて取り組み、産地強化に反映していく次第だ。品質と共販率の向上は長年の目標である。

注目を集める りんご高密植わい化栽培

新規就農者でも栽培できる方法として注目を集めるりんご高密植わい化栽培。高収量、省力・低コストといった様々な利点が魅力だ。技術の単純化と光環境、作業性を重視した栽培を全国に先駆けて取り組む長野県から学ぶ。

	10aあたり 植栽本数	10aあたり 収量
丸葉栽培	30本	約3t
慣行のわい化栽培	100本	約4t
高密植わい化栽培	300本	約6t

高密植わい化栽培とは 世界のスタンダードの栽培方式

高密植わい化栽培は、イタリアの南チロル地方をはじめとする全世界で取り組まれていきます。早期多収・早期成園化が魅力であり、

高度な剪定を必要としないため新規就農者においても容易にできるという利点があります。

従来までの細方紡錘形のわい化栽培との違いは、今まで以上に樹間が狭い栽植密度と作業性にあります。表で示す通り、高密植わい



側枝は切らずに下垂誘引する

化栽培は慣行のわい化栽培に比べて3倍、丸葉に至っては10倍の苗木が必要となります。また、早期成園化を図るためには、果実生産性の高いM9台木のフェザー苗が欠かせない存在となっています。フェザーとは側枝のことで、高密植わい化栽培ではこれを下垂誘引することが剪定に変わる技術として挙げられます。

高密植わい化栽培の魅力

早期多収で品質が揃う

高密植わい化栽培は、従来のわい化栽培の様に骨格枝を作らずに下垂誘引された側枝を利用するため、容易に主幹まで手が届くので作業が単純化され作業効率の向上を図ることができます。カットツリー苗を植えた場合は、定植2年目から初成りし、定植5年目には10aあたり6tを超える収量を見込むことができます。大規模な面積を有さなくても早期多収・早期成園化が魅力であり、現在は長野県での普及が進んでいます。また、青森県内においても普及に向けて各JAで試験栽培されている状況



長野県、定植2年目「ふじ」のカットツリー苗



誘引を怠ると側枝が太り、管理することが難しくなる

平均反収 6 t 超え

高密度わい化栽培の成功と失敗

側枝の下垂誘引と更新がカギ

高密度わい化栽培を成功させる為には、幼木時からの「下垂誘引作業」を徹底して行う事が最も重要です。従来の丸葉栽培やわい化栽培では馴染みの少ないこの誘引作業が、収益性とその後の生育に大きく関係してきます。徹底的な

となつていきます。
※カッター苗とは2年生のフェザー苗のこと。

誘引をする事で早くからリンゴを成らせる事が可能であり、樹勢を落ち着かせる事にも繋がります。高密植わい化栽培は、樹勢が強いと生育管理が困難となり、反面、樹勢が弱いと着色不良やサビ果の多発が懸念されます。

さらに、誘引を怠った場合、または誘引が弱い場合は側枝が太ってしまい、リンゴが成らない枝を作るどころか樹の生育を強め、樹が大きくなり将来的に管理することが難しくなってしまいます。その為、定植3年目頃までの下垂誘引作業が早期多収・早期成園化のカギを握っています。

また、高密植わい化栽培における剪定作業は、主幹に対して太い側枝を間引く事が基本となっています。年次変わり付近の強くなりやすい枝は、何年も残しておくとし幹を太らせてしまい、改植時期を早めてしまうこととなります。

高密植わい化栽培のデメリット

凍害とネズミ被害が懸念

定植時の重要な管理として灌水

作業があります。特に定植1年目の灌水はまめに行う事が重要となります。また、M9台木を利用した場合の排水対策は必須であり、酸素の確保を重要視しなければなりません。解決策としてライズベット（盛り畝）を用いることが一つの方法であり、排水不良園では必須とされています。加えて、M9台木は樹勢維持が極めて重要であり、衰弱傾向にある樹については高い確率で凍害が発生することから、窒素施肥についても極めて大切となっています。青森県の場合は特に冬の凍害とネズミによる被害が懸念されるため、十分な対策が必要不可欠となります。さらに、栽培年数は推定15年頃と経済寿命が短く、ショートサイクルの為、改植園をローテーションするなど検討する必要があります。

初期投資について

トレリスや苗木代等が大きい

初年度はトレリスの設置と多くの苗木を定植させるため、慣行のわい化栽培と比べ100万円ほど

初期管理が重要 馴染みのない作業が中心



主幹に対して太い側枝は、間引くことが基本



密植で植えることによって根の伸長が抑制される為、トレリスが必須となる



ライズベットで排水性を良くする事で、凍害対策に繋がる



定植5年目の様子。1反歩6tの収量がある



作業のほとんどを地上で行うことができ、管理しやすい

驚きの反収率 作業の60%以上が地上部

多くの経費がかかります。しかし、慣行のわい化栽培よりも1年早い定植2年目から初成りを迎えることに加え、10aあたり約1tの収量が見込めます。さらに、定植5年目には10aあたり約6tの生産量を見込むことができ、従来のわい化栽培に比べ4年ほど早く初期投資を回収することが可能となります。



長野県を中心に普及が進められている「高密度わい化栽培」。りんご栽培を取り巻く環境は、労働力不足や後継者不足を背景に栽培面積減少が深刻な問題となっております。この問題解決に向けて高密度わい化栽培は大きな力を発揮する取組の一つとして注目を集めています。また、大規模な面積を有さなくても、まとまった収量を確保することが可能な為、園地の集約化も魅力となっています。高密度わい化栽培は、マニュアルどおりに栽培する難しさもありますが、基本さえ守れば新規就農者でも出来るりんご栽培といっても過言ではありません。メリットは早期多

収で品質が揃うことだけではなく、スピードスプレーヤ（SS）による効率的な薬剤散布も可能であることなどが挙げられます。高密度わい化栽培は、平地での栽培が基本であることから、SSが走りやすい園地設計となっていることに加え、密植で植えるため、農薬等のコスト低減にも繋がります。省力化や大量生産といった様々な魅力を持つ高密度わい化栽培は、まさに「現代農業」とも云える取組ではないでしょうか。高い技術を要するりんご栽培の考えを一変させるこの栽培方法は、これから新たに農業の道を歩む人に大きな夢と期待を与えるはずです。

当JAにおいても試験的に高密度わい化栽培に取り組んでいる中で、初期管理は非常に重要であり、早期成園化を図るためには定植1年目から3年目が大切であることを実感しているところです。馴染みのなかった作業が中心となってくる為、導入する際はこれまでの感覚を変えることが大事となります。今後は、普及推進に向けてより良い管理方法を模索しつつ、組合員の皆様に提案して参ります。

建物・家財 保障点検活動実施中

JA共済からのお知らせ

昨今、全国的に自然災害（地震・台風など）が猛威を振るっており、「平成30年4月島根県西部地震」を始め6月には「大阪府北部地震」、7月「台風7号・12号」8月「19号・20号」、9月「台風21号・平成30年北海道胆振東部地震」、10月「台風24号・25号」と毎月のように大きな災害が発生しております。

JA共済ではこれまでも組合員・利用者の皆様の財産をお守りするため「建物更生共済まもり」「建物更生共済むてき」をお届けしてまいりましたが、平成29年4月より更にパワーアップした自然災害に強い「建物更生共済むてきプラス」をスタートいたしました。

なお、現在ご加入いただいております保障内容等に関するご相談は、本所窓口にて承りますので、現在ご加入されていない方も、ぜひこの機会にご検討下さい。

予測できない自然災害に備えていますか?

JA共済

さまざまな自然災害から住まいを守る

「いざ」という時に頼れる「備え」

建物更生共済むてきプラス

JA共済では、突然の大規模自然災害の発生に備え、青森県下424名の損害調査体制でバックアップ!

JAの建物更生共済の確かな支払実績

東日本大震災をはじめ、これまでさまざまな自然災害で、たくさんの共済金がお役に立ちました。

地震	風水害
阪神淡路大震災 平成7年1月発生 1,188億円	平成3年9月 台風19号 1,488億円
東日本大震災 平成23年3月発生 9,370億円	平成30年7月 台風7号・12号 508億円
熊本地震 平成28年4月発生 1,481億円	平成30年8月 風水害 15億円
大阪府北部地震 平成30年6月発生 413億円	平成30年9月 台風21号 69億円

さまざまな自然災害から住まいを守る、安心の備えをご提案します。

建物更生共済むてきプラス

POINT 1 新たに、「実損てん補方式」という支払方式が導入されました!

建物 「実損てん補方式」【比例てん補方式】から選べます。 家財 すべて「実損てん補方式」になりました。

POINT 2 「臨時費用共済金」【特別費用共済金】をお支払い! 水災のときの保障が充実しました!

POINT 3 同一敷地内の付属建物・工作物(門・塀、カーポート等)を自動保障します!

建物更生共済の共済金のお支払い方法には2つの方式があります。

① 建物の評価額(再取得価額):2,000万円 建物更生共済加入額(火災共済金額):1,000万円

台風で100万円の損害

共済金お支払い

比例てん補方式 風水災等共済金 **62.5万円** お支払い

実損てん補方式 風水災等共済金 **100万円** お支払い

この方式では、評価額より加入額が少ない場合、お支払いできる共済金が損害の額より少なくなることがあります。

この方式では、損害の額を共済金としてそのままお受け取りになります。

新しい「実損てん補方式」は損害の額をしっかりとカバー!小さな損害の額も安心です!

JA共済ホームページアドレス <http://www.jakyoai-aomori.jp>

果実販売動向

販売課 米澤松太



10月の果実動向は、ミカン・柿については台風の影響により下位等級品が多く、出荷が出遅れ中旬以降には回復しましたが、ブドウ等を含め、果実全般に品薄傾向となり、数量減の単価高で推移しました。輸入果実については、国産果実の品薄感からキウイ・バナナを中心に潤沢な入荷となり、売場の中心となりました。リンゴについては、早生種からの高値基調により例年以上に流通在庫が多いことと、他県産の中生種の出遅れから産地リレーが滞り、また、台風による樹上損傷から下位等級比率が高く、リンゴ全般に流通量が増加したことから近年にない厳しい販売となりました。また、輸出については、トキ・早生ふじを中心に香港・台湾・タイ等へ例年以上に出荷されましたが、台風等の影響及び中秋節需要の引き合いによる産地市場高から適期収穫されな

いものが出回り、食味が悪いことに加え、仕入価格も高かったことから荷動きが緩慢となり滞荷の状況が続いています。一方、産地市場においては、CA貯蔵向けの「ジヨナゴールド」が高値で推移し、特に有袋ふじについては高騰し、「輸出向け・CA貯蔵向け」の品種とそれ以外の品種で二極化現象となっています。

今後は、ミカンについては、下位等級品は多いものの、平年を上回る流通量が予想されることに加えて、輸入果実についても国産果実の品薄感を背景に、潤沢な出荷が予想されることから売場の主力品種として販売される見込みです。リンゴについては、中生種がほぼ終了し、他県産の晩生種に切り替わりますが、リンゴ全般に荷動きが低迷していることから、小売価格の見直しや、下位等級品を中心とした企画販売、消費宣伝の取り組みを強化し、売場を拡大することが今後の価格の底上げとなります。11月下旬からは、年末向け贈答や春節向け輸出もスタート

することから、相場も回復する見込みです。

全農あおもりデータ・10/31

品 種	サンつがる	早生ふじ	ト キ	きおう	サンジヨナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,758	2,966	2,836	2,836	2,756	2,803	2,837
前 年 比 (%)	117	105	113	119	100	104	112
数量 (箱/10kg)	917,508	594,756	163,620	131,538	1,859	121,145	1,930,426
前 年 比 (%)	84	95	97	96	40	88	89

お知らせ

皆様お待ちかねの「青年部のもち米」が12月上旬に販売開始を予定しています。数量に限りがあるため、予約販売を受付致します。予約していただいた方には、無料で配達させていただきます。

例年通り、直売所「林檎の森」でも販売しますので是非ご賞味あれ！

価 格：1升 **600**円 (税込)

支払い方法：現金又は口座振替

お問合せ先：JA相馬村 農業振興課 青年部事務局 三上拓哉

Tel 0172-84-3215



直売所「林檎の森」

直売所 二上 礁子



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただき誠にありがとうございます。

直売所では、毎日新鮮で美味しい野菜や果物、山菜が並んでいます。野菜は大きくて安い白菜やサトイモなど他にもたくさん種類があり、山菜はナラタケや、くりたけ、はたけしめじ、特になめこなどが多く出ています。また、漬け物に使える赤カブも始めてきました。赤カブは人気でその日の入荷量にもよりますが、今のところだいたい午前中には売り切れる日が多いので午前中が狙い目です。

さらに「他の人の漬け物を食べてみたい、そんなに量はいらさないけど食べたい、漬け物は作るのが手間だしパッと食べたい」という方には、冷蔵棚で販売されている会員が作った漬け物がオススメです！先月あたりからは、リンゴの出荷が日を追うごとに増えてきました。品種についても早生種から中生種へと徐々に切り替わり、今後は晩生種の「ふじ」を中心とした



注目の「りんごまつり」

主力品種が出荷される予定です。リンゴが増えてくると同時に「リンゴの発送はできますか？」という声も多くなってきました。当直売所では、毎日発送を受けております。発送の際は、レジでスタッフが対応致しますので、遠慮なくひと声お掛けください。また、贈答用リンゴの発注も承っております。その際も、スタッフにご相談ください。

さて、今年もみなさんお待ちかねの「りんごまつり」がいよいよ始まりです！開催期間は11月17日（土）～12月9日（日）までの予定となっております。美味しい飛馬リンゴをさらに広められるチャンスですので、県内外の親戚や友人に送るなどして相馬のリンゴをもっと盛り上げていきましょう！！

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部担当 堀井 裕子



10月18日、県下JA女性部長・支部長・事務局合同会議が行われ、各農協における「女性部員増加運動」の取組を報告しました。この運動は、部員が減少傾向にあることから三ヶ年計画で進められており、今年で2年目を迎えます。

会議では、部員数増加のためにはどのような取組が大切なのかを確認しました。その中には、地域の祭りや年齢の近い世代によるサークル活動からの勧誘や、食に関心のある母親層への料理教室及び離乳食や減塩レシピ等を活用した取組で女性部との接点を増やすなど、様々な意見や目標が挙げられました。随時、部員を募集することは基より、とにかく農協に足を運んでもらう機会を増やすことが大切だと感じました。

午後からは、次世代女性リーダー研修会が行われ、「JA自己改革って？」と題してJA青森中央会JA改革推進室 渋谷亮室長が講演しました。JAの自己改革が一層求められている現在、後押しする



合同会議の様子

JA女性組織としても「学習」「対話」「発信」がとても大切になっています。今回の講演では、農業やJA事業において、女性の活躍がとても大切だということを実感することができました。また、自己改革を議論するにあたって、「多くの女性の意見が述べられているか」「意見に偏りがないか」など慎重に進めていく必要性も感じました。当JA女性部においても、「地域の農業」と「くらし」のために自己改革を後押し、地域にJAが必要だということを発信していきたいと思えます。

不動産取得税のお知らせ

不動産取得税は、土地や家屋を、有償・無償の別、登記の有無にかかわらず、売買、贈与、交換、建築（新築・増築・改築）などにより取得したときに、その取得者に一度だけ課税される県の税金です。不動産の取得後、ある程度の期間をおいて納税通知書が送付されますので、指定された納期限までに納付してください。

なお、一定の要件にあてはまる住宅や住宅用の土地を取得した場合には、必要な書類を添えて申請することにより軽減となる制度があります。詳しくは、県ホームページ（http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/004_01fudousanindex_00.html）をご覧ください。中南地域県民局県税部までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

中南地域県民局県税部課税第二課 電話 32-1131（内線 327）

不動産取得税のお知らせ

不動産取得税の徴収猶予制度について

（農地等の生前一括贈与による徴収猶予制度）

不動産取得税は、土地や家屋を、有償・無償の別、登記の有無にかかわらず、売買、贈与、交換、建築（新築・増築・改築）などにより取得したときに、その取得者に一度だけ課税される県の税金です。不動産の取得後、ある程度の期間をおいて納税通知書が送付されますので、指定された納期限までに納付する必要がありますが、農地等を生前一括贈与で取得した場合は、納期限までに地域県民局に徴収猶予の申請を行うことで不動産取得税の納付が猶予されます。

- 申請には戸籍謄本、農地法第3条の許可書の写し、農業委員会が交付する「不動産取得税の徴収猶予適格者証明書」などの書類が必要です。
- 農地等の生前一括贈与で徴収猶予を受けた場合は、3年ごとに徴収猶予継続届出書の提出が必要です。
- 贈与者又は受贈者が死亡した場合には、届出により猶予された納税義務が免除されます。

詳しくは、中南地域県民局県税部までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

中南地域県民局県税部課税第二課 電話 32-1131（内線 327）

不動産取得税の徴収猶予制度について

地域おこし協力隊 活動記 Vol.42

第3回
相馬産りんご最高の1個決定選手権
//出品者募集//

受付期間：2018年11月20日(火)～11月28日(水)
午前10時～午後3時
受付場所：相馬総合支所総務課窓口
※出品したいりんごを持参ください。
優勝者にはロマンとピア入浴券ペア券。
出品者全員に入浴券&JAZZ招待券をプレゼント!

＜出品規格＞
●品種…サンショウ、王林、シナノ
ゴールド、金早、田口いり
●出品数は各品種につき一人一割
●玉の大きさは330-380g(厳守)
※出品物は返却しません

相馬で
JAZZを聴かNight 2018
～ひと足早いX'mas～

演 長谷川健
SWING HAT JAZZ ORCHESTRA

平成30年12月1日(土)
【開場】17:30 【開演】18:00

弘前市中央公民館相馬館「舞臺」

会場内にて
軽食・お酒などを販売しています。

※前売券以下無料、ワンドリンク込
前売券(1人分) ¥1,000-
前売ペア券 ¥2,000-
※ペア券には200円分の金券つき！
当日券(1人分) ¥1,500-

●新馬産りんご「最高の1つ」決定選手権結果発表をコンサート内で行います。
●会場入口に相馬産の特産品紹介・販売コーナーを設けております。
●「気軽にJAZZを聴く」をコンセプトのコンサートです。
例えは歌謡番組にスーパーと月曜日同様のような、どんな気軽な観客でもお越しください。

☆前売チケット取扱場所☆
弘前市役所相馬総合支所/JAZZ相馬村(本陣・黒口支所・相馬支所)
JAZZ相馬村産物直売所「林檎の森」/弘前市まちなか情報センター

主催/相馬地域おこし協力隊事務局 (http://www.facebook.com/kozasbyshiroaki)
共催/弘前市、弘前市相馬地区振興局
お問い合わせ/相馬総合支所総務課 相馬 敬典 (電話：0172-44-2111 FAX: 0172-44-2112)

スマートフォンからのお申し込みはこちら

相馬地区地域おこし協力隊のあかりです。
今回は皆さんにお知らせです。

一昨年・昨年と大好評だったジャズコンサート「相馬でJAZZを聴くNIGHT」を、今年も12月1日(土)の18:00より、長慶閣で開催します!

JAZZを聴いて、日頃の疲れを癒しませんか? 前売りチケットのお買い求めは、相馬総合支所またはお近くのJAまで!

また、「相馬産りんご最高の1個決定選手権」の出品者も大募集しています!

今年は、ご出品いただいた方全員にJAZZ無料招待券&ロマンとピア入浴券をプレゼント。さらに、優勝者にはロマンとピア豪華入浴券ペア券を贈呈します。

出品受付は11月20日(火)～28日(水)の10:00～15:00、相馬総合支所総務課窓口にて、出品規格をご確認のうえ、出品したいりんごをご持参ください。たくさんのご出品をお待ちしています!

詳細は、JA各施設等に設置のチラシ・ポスターをご覧ください。



此処は農協の選果場の入口付近。
油売りとマムシ、オンベの三人が、
今日は此処に居る。

油売り「吾（ワ）、孫を競馬の騎
手にするつもりだじゃ」

オンベ「ナシテヤ」

油売り「この間——十月二十一日
の京都の競馬で菊花賞の賞金が一
等賞一億三千万円だってヨ。騎手
にもウツテ入るもんだべ！」

マムシ「いいフンベツだ。此処は
相馬——馬に関係の深い所だから
——」

オンベ「本県で、競馬士がよく出
る所は上北町や天間林村だな——
この辺から出てもいいナー——」

油売り「競馬の騎手はモテクテも
（体重）マエネバテ、軽ければ鉄
を背負わされるらしいな——」

オンベ「馬にも駄賃つけ馬と競馬
用（軽種）の二種類があつたな——。

旧中津軽郡は馬産地でもあつたの
だ。岩木山周辺に採草地が多かつ

たから——」

マムシ「田舎館村や光田寺村、板

柳町などには草地が無いから、特
別に岩木山の東側を借りて草刈り
をしたものだぞうだ」

オンベ「この旧相馬村に、争馬と
騷馬の二種類の血統があつたとか」

油売り「ウン、聞いたことがある。
それは主に五所や湯口などに多

かつたとか」

オンベ「昔、弘前の連隊で、朝、
馬に乗って官舎から連隊へ出勤す
るのは大尉から上であつたぞうだ」

マムシ「師団長は？」

オンベ「今の藤田別邸の所から自
動車であつたぞうだ」

油売り「昔、宮中席次というもの
があつたとか」

オンベ「ウン、儀式があつたとき
の席順のことよ。本県では弘前の
第八師団長、大湊の海軍要港部司

令官、知事、国会議員、地方裁判
所長、青森宮林局長、弘前高校長

——だつたとか。

× × ×

注 旧憲法時代（昭和二十一年ま

人の言行にも
お経在り
お経は心なり

双馬農協区域内
何人が居る
義信

で）県知事は「官選知事」です
べて東京の政府から。青森、秋田、
岩手、鳥取、島根などは「二等県」

で、知事は政府（主に内務省）の
古参課長級。北海道は「知事」で
なく「長官」だつた。

購読課
今月のオススメ
商品

防寒テムレス

やわらかい“ボア”タイプの裏起毛。
寒くても柔らかい！



¥1,296
(税込)

十一月の川柳
連続の
台風不安に 神の守護
蜜入りの
はじける甘さ 挽く笑顔
入庫車と
輸送車と交錯 大賑わい



(田沢 勝衛)

編集部のつぶやき～編集後記～

寒さが増す今日この頃。岩木山は、紅葉と雪化粧で色鮮やかに相馬地区を見守っていました。リンゴの収穫もピークを迎え、フルーツステーションでは連日入庫作業が進められています。これからは、贈答用リンゴの出荷が繁忙期に突入し、並行して選果荷造り作業もピークとなります。全国の皆様に飛馬りんごの魅力を発信できるよう、広報「林檎の森」でも相馬の旬な情報と歴史ある産地を伝えていきたいと思ひます。行け！ 行け！ 飛馬！！ (S.daiki)

今月の表紙
サンふじの収穫がピークを迎える

理事会だより

10月22日(月)

- 1) 9月末残高試算表について
- 2) 直売所りんご祭り開催要領について
- 3) 平成31年用春肥料・りんご袋取扱要領について
- 4) 貸出業務実施細則の一部改正について
- 5) 信用事業における事業運営モデル選択について
- 6) 農林中央金庫の平成30年度資本対策にかかる要請への対応について
- 7) 平成30年度「JAバンク青森冬の貯めトクキャンペーン」の実施について
- 8) 貸付関係について
- 9) 不良債権四半期報告について
- 10) りんご販売関係について

今月のあなたの運勢 ★ 12月 ★

モサ・オサンドラ



♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19

全体運
興味のあることに思い切ってトライしてみたい時期。攻めの姿勢が幸運のポイントに。遠出のドライブも刺激的

健康運
不規則な生活リズムを正すと好転の兆し

幸運を呼ぶ食べ物
エリンギ

♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20

全体運
マイナス思考になりやすく、周囲ともめそう。意識的に笑顔を手掛けて。気分転換にはハーブを使った料理を

健康運
ストレッチなど、ゆったりした運動が◎

幸運を呼ぶ食べ物
シュンギク

♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21

全体運
勢いはあるものの、ちょっとしたことでペースを崩しがち。いつまでも過去を引きずらないで。芸術鑑賞につき

健康運
リラックスしていると運氣に好影響あり

幸運を呼ぶ食べ物
サツマイモ

♋ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22

全体運
あれこれ考え過ぎてしまいそう。悩むより、ぶつかってみるのがベストです。開運には部屋の掃除や整理整頓を

健康運
スポーツに励むと、大いに楽しめるはず

幸運を呼ぶ食べ物
イタゴ

♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22

全体運
楽しいことに縁がある時期。遊びや旅行のお誘いには快くOKして、出掛けて。アートの触れるプランもグッド

健康運
歩くなど、ちょっとした運動がラッキー

幸運を呼ぶ食べ物
ハクサイ

♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22

全体運
余計なおせっかいからトラブルを招きがち。見守る気持ちを大切に。趣味や好きなことに励む時間を持ってみて

健康運
生活リズムを整えること。寝不足はNG

幸運を呼ぶ食べ物
ナガイモ

♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23

全体運
コミュニケーション能力が活性化。誰とも気軽に親しくなれそう。グループレジャーを企画すると良い刺激に

健康運
暴飲暴食に注意。よくかんで食べることに

幸運を呼ぶ食べ物
ブリ

♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22

全体運
やるべき作業を早めに片付け、自分の時間を満喫したい月。やったことのない趣味を始めるのにも向いています

健康運
体を動かすことで、元気が上向く時期

幸運を呼ぶ食べ物
芽キャベツ

♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21

全体運
気力が増し、いろいろなことにチャレンジしたくなる予感。どんどん動いていけば、確かな手応えを得られそう

健康運
体力的な無理は避けて。休みも必要です

幸運を呼ぶ食べ物
ユズ

♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19

全体運
優しさや思いやりを大切にすることで、人間関係にうれしい変化が。気分リフレッシュにはフットケアがお勧め

健康運
軽い体操で体のリズムを取り戻そう

幸運を呼ぶ食べ物
フグ

♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18

全体運
知的ジャンルに興味を持つと、新鮮な驚きや出会いがあります。講演会に行ったり、体験教室に参加したりして

健康運
運動不足は体重増のもと。日頃から運動を

幸運を呼ぶ食べ物
小豆

♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20

全体運
ストレスを感じやすいかも。1人の時間を持つなどして、心を穏やかにキープして。鉢植え植物の世話につき

健康運
疲労の解消を。リラックスタイムが大事

幸運を呼ぶ食べ物
シヤモ

ひとときを輝くパートナー

「おらほのりんご」でま行く編



H I Dが街道を明るく切り裂く



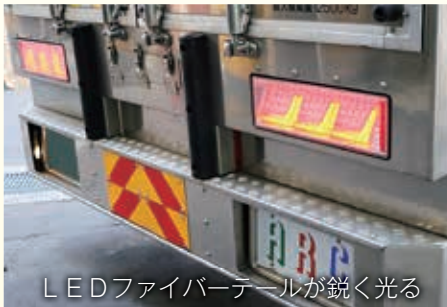
次世代型のステアリング周り



高級感溢れるレザーシート



「千年の都」京都に向けて出発！



LEDファイバーテールが鋭く光る



晩生種の入庫が繁忙期を迎えた

11月上旬、JA相馬村フルーツステーションでは晩生種の「ふじ」を中心とした入庫作業がピークを迎えた。毎晩、夜遅くまでリンゴが溢れかえっていた。今後は、贈答シーズンに突入することから、サンふじの選果荷造りが本格化していく予定だ。

今回、フルーツステーションを出発したのは、(有)青森流通センターのトラック。積み込まれたのは、「早生ふじ」など168ケース。行先は、京果京都青果合同株式会社だ。今回出発した青森流通センターのトラック「新型クオン」は、ガンメタに輝くキャブと高級感溢れる次世代型の「人を想う」デザインから生まれた快適なインテリアが魅力的だった。ブラックとシルバーを基調とした洗練されたコックピットはドライバーに満足感を提供している。また、進化した12段電子制御式オートマチックトランスミッションは、快適な運転性能を誇ることで多くの人から愛されている。最新鋭のトラックが今日も安心安全に飛馬リンゴを運んでくれる。



魅力
Part 2



農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2018.11 Vol.436

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年11月15日

JA 相馬村概況

〈平成 30 年 10 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	363 人
出資金	630,620 千円
貯金額	9,295,189 千円
共済保有高	3,423,859 万円